



「わたしの子育てから学ぶ保育の原点」

次女が3歳半のころ、私はいつものように近くの公園に3人の子どもを連れて遊びに行きました。長女は幼稚園のお友達とごっこ遊び、やっと歩けるようになった長男は私の近くで砂遊び、次女はここ数日何もせずに私の足元でしゃがんでみんなの様子を眺めていました。私はママ友同士でお喋りの最中、一人のママ友が次女に話しかけました。「何で遊ばないの？みんなと遊んでくれば！行ってきなよ。」そして私にも「みんなの所に遊びに行かせればいいんじゃない。何で行かせないの？」と話してきました。行かせないわけではない。むしろ私も、娘にみんなと遊んで欲しいという思いがありました。しかし、子どもには子どもの事情があるのかもしれない。子ども自身が自らの意志で一步踏み出して行けるまで待っていました。遊ばなくても、公園に行くことを嫌がらなかった次女は、数日後には時々みんなの輪に入りながら遊べるようになりました。

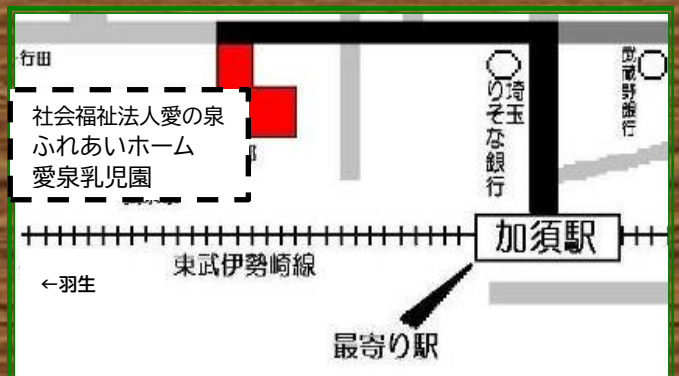
泣いている子どもがいたら泣きやむまで抱っこして、自ら泣きやんで、自らの足で一步を踏み出すまで、その子に寄り添ってあげることが私の保育の原点です。

愛泉幼稚園 畑千江子

★あんなこと・こんなこと★

2歳になる女兒。保育者が他児を抱っこしてユラユラトントン寝かしつけていると、隣で玩具を抱きながら同じリズムで揺れて寝かしつけしたり、自分より小さい子が泣いている時には、両手を伸ばして「おいで」と迎え入れ慰めたりする姿が見られています。その姿がとっても愛おしいです♪

交通案内図



住所:埼玉県加須市土手 2-15-57



～愛泉幼児園の紹介～



本園のキリスト教保育が目指しているのは「食育」と「心の成長」です。

本園の創始者であるドイツ人の教育者キュックリヒ先生（加須意の名誉市民）が大切にしていたことは「台所」と「教会」でした。今の言葉で言えば、「食育」と「心の成長」ということでしょう。子ども達が正しく食べる習慣を身に付けることで、身体が成長するように、キリスト教の精神を通して、心がより豊かに成長することを先生は願ったのです。また、愛泉幼児園が、子どもたちが安心して過ごせる、ご家庭の皆様から信頼していただける「子どもたちにとってのもうひとつのおうち」であることもキュックリヒ先生の願いでした。私たちは創始者の志を現在に受け継ぎ、子どもたちはもちろん、子育て世代のご家庭を少しでも支えることができると願っています。（加須市内保育所情報－愛泉幼児園－より一部抜粋）

詳細については愛泉幼児園のホームページや加須市内保育所情報をご覧ください。

※2023年度4月からの入所を希望される方の見学を随時受け付けています。

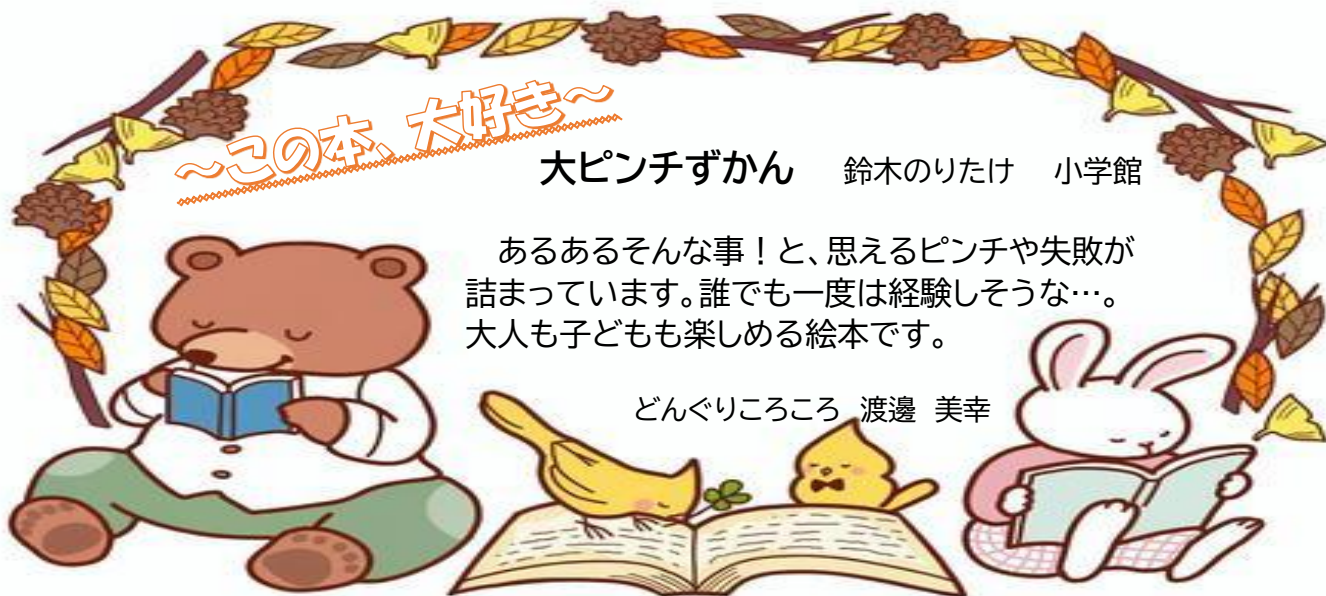


～この本、大好き～

大ピンチずかん 鈴木のりたけ 小学館

あるあるそんな事！と、思えるピンチや失敗が詰まっています。誰でも一度は経験しそうな…。大人も子どもも楽しめる絵本です。

どんぐりころころ 渡邊 美幸



★オープンハウス(9:00~12:00)月・水・金曜日★

0歳児からの親子が自由に過ごせる場所です。スタッフも一緒に過ごします。



★おはなし会(11:45~12:00)★

自宅にもちかえることの出来る手遊び、絵本や紙芝居の会です。



★0歳児対象のスペース(月曜日 9:00~12:00)★

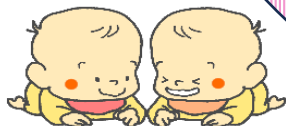
1歳未満のお子さんをご家族が自由に過ごせる場所です。

サロ

わくわくツインズ

双子(多胎児)の親子・妊婦が集まって、子育ての楽しさや大変さを一緒におしゃべりして、情報交換する場です。お子さんも一緒に遊びましょう。気軽にお申し込みください。

毎月 第2火曜日
10:00~12:00



産休・育休サロン

仕事復帰に向けて、いろいろな不安や心配事がたくさんあるはず...一人で、あるいはご夫婦だけで悩んでいませんか?この機会に、みなさんで一緒に語り合いませんか?

毎月 第3火曜日
10:00~12:00



【子育て相談】(月曜日~金曜日 9:00~15:00)

子育てで悩んでいることはありませんか?一緒に考えてきましょう。お気軽にお問い合わせください。

電話:0480-62-2990(子育て支援センター 愛の泉ふれあいホーム)

